

平成23年度
西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書
(平成22年度事業実績)

平成23年12月

西原町教育委員会

はじめに

平成20年4月1日より改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の執行及び管理状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書として作成し、議会に提出するとともに、公表することとなりました。

これを受け、西原町教育委員会は、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たせるよう、教育委員会の活動及び事務の点検評価を行い、報告書を作成しました。

この報告書は、毎年作成し公表しておりますが、西原町教育委員会としては、今後も報告書の内容充実に努め、町民に分かりやすいものにするために、必要な検討を加えていくこととしています。

また、点検評価の実施を通じて、教育施策の検証と改善を図りながら、本町教育行政の着実な推進につなげていきたいと考えております。

平成23年12月

西原町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1. 教育委員会の活動について

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されており、5名の教育委員により組織され、その合議の下に、教育、文化、スポーツ等に関する教育行政の事務を行います。

通常の事務については、委員の中から選任された教育長を通じて執行管理を行いますが、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は教育長に委任することはできず、委員会自らが執行管理をすることになっています。

西原町教育委員会では、毎月20日を定例教育委員会の開催日として会議を開催し、必要事項を審議し決定しています。また、教育委員会の主催事業や町の行事、各種の研修会等にも積極的に参加しています。

平成22年度の委員の構成及び定例会・臨時会の開催状況並びに各種行事等への参加状況は次のとおりです。

(1) 委員の構成

役職	氏名	任期	教育委員としての経歴		備考
			当初就任	勤続年月数	
委員長	仲本 紀男	H20.4.1～H24.3.31	平成 20 年度	3 年	委員長 1 年
委員長職務代理者	下地 勝也	H21.4.1～H25.3.31	平成 21 年度	2 年	
委員	新垣 洋子	H19.4.1～H22.8.31	平成 18 年度	3 年8ヶ月	
委員	松岡 幸子	H22.4.1～H26.3.31	平成 22 年度	1 年	
教育長	垣花 武信	H21.4.1～H23.3.31	平成 17 年度	6 年 1 ヶ月	教育長 6 年

(2) 会議の開催状況

会議の名称	開催日	場所	案件
第1回(4月)臨時会	平成22年4月1日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員長の選任について ・青少年健全育成協議会会長選任について
第1回(4月)定例会	平成22年4月20日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町新行政改革大綱(案)について ・第55回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会について
第2回(5月)臨時会	平成22年5月7日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町新行政改革大綱(案)について
第2回(5月)定例会	平成22年5月18日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校総合体育大会の西原町実行委員会について ・教育委員会学校訪問について
第3回(6月)臨時会	平成22年6月2日	西原小学校 家庭科室	<ul style="list-style-type: none"> ・坂田小学校の過密化解消の取り組みについて ・中頭地区市町村教育委員会連合会総会及び研修会における「沖縄県教育委員との意見交換会」のテーマについて
第3回(6月)定例会	平成22年6月21日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会事務局組織及び事務分掌に関する規則の一部を改正する規則について ・学校給食費滞納対策について ・子供理解のための「指導支援カルテ」に関する①方針②要綱の策定について ・平成23年度以降使用小学校教科用図書の見本展示について
第4回(7月)臨時会	平成22年7月8日	教育長室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町内中学校における集団暴行被害についての報告と対応策について
第4回(7月)定例会	平成22年7月20日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の生徒指導と中学生フォーラムについて ・「平成22年度都留市青少年ふれあいの旅」について ・平成23年度以降使用小学校教科用図書の採択について ・指導支援カルテについて
第5回(8月)定例会	平成22年8月19日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成22年度都留市青少年ふれあいの旅」を終えて(報告) ・西原町有料公園施設の管理運営に関する規則について ・西原町子ども理解のための支援事業実施要綱(案)について ・西原町教育委員会の事務事業の点検・評価の概要について ・「平成22年度全国学力学習状況調査」の結果報告について

第6回(9月)定例会	平成22年9月21日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の辞職について ・西原町庁舎等複合施設建設検討委員会委員の承諾方について ・地域の力で学校を支援します(学校支援地域本部事業)について ・生徒指導について ・平成22年度地域ぐるみ学力向上対策協議会・地域教育部会講演会について
第7回(10月)定例会	平成22年10月20日	本庁舎第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度研修会における分科会協議題案について ・平成24年度文教施策とその予算措置に関する要請事項について ・西原町教育委員会の事務事業の点検・評価の日程について ・教育関係諸行事における教育委員会の役割について
第5回(11月)臨時会	平成22年11月8日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町青少年健全育成協議会会長の選任について ・修学旅行の見直しについて
第8回(11月)定例会	平成22年11月18日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度「西原町教育の日」について
第9回(12月)定例会	平成22年12月20日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ・平成22年度西原町一般会計補正予算(第3号)について ・平成22年度西原町一般会計補正予算(第4号)について ・平成22年度学力到達度調査について ・新学習指導要領に伴う授業日数の見直しについて ・損害賠償等請求調停事件について ・社会福祉協議会の理事の推薦について
第10回(1月)定例会	平成23年1月20日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・西原町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について ・西原町社会教育委員との意見交流会について
第11回(2月)定例会	平成23年2月21日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度 事務事業の点検及び評価報告書について ・西原町教育委員会の教育目標(案)について ・教育委員(教育長)の辞職について
第6回(3月)臨時会	平成23年3月2日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度定期人事異動(学校管理職)について

第12回(3月)定例会	平成23年3月18日	上下水道庁舎2階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・西原町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について ・西原町字誌(史)等発刊事業補助金交付要綱について ・西原町子どもの読書活動推進計画策定委員会設置要綱について ・西原町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について ・西原町教育委員会事務局組織及び事務分掌に関する規則の一部を改正する規則について ・西原町学校給食共同調理場管理規則の一部を改正する規則について ・西原町学校給食費徴収嘱託員に関する規程の一部を改正する規程について ・西原町教育委員会職員への併任に関する規程について ・平成22年度西原町一般会計補正予算(第5号)について ・平成23年度 西原町一般会計予算について ・人事異動について(教育委員会関係) ・坂田小学校過密化解消について ・平成23年度教育委員会等の学校行事参加割当てについて
-------------	------------	-------------	---

定例会12回、臨時会6回を開催しました。

(3) 研修会、勉強会等の参加状況

日付	場所	研修会等の名称	参加委員
平成22年5月10日 ～11日	浦添てだこ小ホール他	第55回沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会	全委員(5人)
平成22年6月9日	糸満青少年の家	平成22年度 沖縄県社会教育指導者研修会	仲本紀男委員長 松岡幸子委員
平成22年6月18日	中城村吉の浦会館ホール	平成22年度中頭地区市町村教育委員会連合会総会・研修会	仲本紀男委員長 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年7月15日	中頭教育事務所	平成22年度中頭地区市町村教育委員会連合会新任教育委員研修会	松岡幸子委員
平成22年10月4日	那覇市民会館中ホール	平成22年度沖縄県市町村教育委員会研修会	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長

平成23年2月7日	中頭教育事務所	平成22年度中頭地区市町村教育委員会連合会講演会	仲本紀男委員長 松岡幸子委員
平成23年2月21日	西原町役場 大会議室	西原町社会教育委員との懇談会	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長

上記のほか、定例会前の事前勉強会を12回、教育委員会事務事業評価点検ヒヤリングを3回開催しました。

(4) 主催行事や学校行事等への参加状況

日付	場所	行事等の名称	参加委員
平成22年4月8日	坂田小学校 西原小学校 西原東小学校 西原南小学校 西原中学校 西原東中学校	小中学校入学式	新垣洋子委員 下地勝也委員 松岡幸子委員 仲本紀男委員長
平成22年4月11日	坂田幼稚園 西原幼稚園 西原東幼稚園 西原南幼稚園	入園式	松岡幸子委員 仲本紀男委員長 新垣洋子委員 下地勝也委員
平成22年6月2日	西原小学校・幼稚園	学校訪問	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年6月8日	西原東小学校・幼稚園	学校訪問	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年6月9日	西原南小学校・幼稚園	学校訪問	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年6月18日	坂田小学校・幼稚園	学校訪問	仲本紀男委員長 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年6月21日	西原中学校	学校訪問	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年6月24日	西原東中学校	学校訪問	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年7月4日	西原南小学校	運動会	垣花武信教育長
平成22年8月10日	西原町中央公民館ホール	西原町・都留市青少年交流事業「青少年ふれあいの旅」交流会	仲本紀男委員長
平成22年8月12日	中城村吉の浦会館	3町村合同教育講演会	松岡幸子委員
平成22年9月7日	西原中学校	学対訪問	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長
平成22年9月19日	西原町民陸上競技場	第31回西原町陸上競技大会	全委員(5人)

平成22年9月26日	西原東小学校	運動会	下地勝也委員
平成22年10月24日	西原東中学校	文化祭	仲本紀男委員長 下地勝也委員
平成22年10月24日	西原中学校	体育祭	垣花武信教育長 松岡幸子委員
平成22年10月31日	坂田小学校	運動会	仲本紀男委員長
平成22年11月7日	西原小学校	運動会	松岡幸子委員
平成23年1月9日	西原町民体育館	成人式	全委員(5人)
平成23年1月30日	坂田小学校 西原小学校 西原東小学校 西原南小学校	学芸会	垣花教育長 下地勝也委員 松岡幸子委員 仲本紀男委員長
平成23年2月5日	西原中学校体育館	西原町教育の日	全委員(5人)
平成23年3月11日	西原中学校 西原東中学校	卒業式	仲本紀男委員長 松岡幸子委員 垣花武信教育長 下地勝也委員
平成23年3月22日	坂田幼稚園 西原東幼稚園 西原南幼稚園	卒園式	下地勝也委員 仲本紀男委員長 松岡幸子委員
平成23年3月23日	坂田小学校 西原小学校 西原東小学校 西原南小学校	卒業式	仲本紀男委員長 下地勝也委員 松岡幸子委員 垣花武信教育長

(5)その他の活動

日付	場所	行事等の名称	参加委員
平成22年4月9日	西原町役場	西原町人材育成会会計監査	新垣洋子委員
平成22年4月14日	中頭教育事務所	平成22年度中頭地区市町村教育委員会連合会第1回理事会	仲本紀男委員長
平成22年4月18日	西原きらきらビーチ	西原町きらきらビーチ海びらき	仲本紀男委員長
平成22年5月15日	西原町中央公民館	平成22年度 西原町PTA連合会定期総会	新垣洋子委員 松岡幸子委員
平成22年7月13日	西原町中央公民館	第60回中部南保護区「社明大会」	仲本紀男委員長
平成22年7月28日	沖縄県総合運動公園 陸上競技場	平成22年度全国高等学校総合体育大会「美ら島沖縄総体2010」総合開 会式	仲本紀男委員長 垣花武信教育長
平成22年8月1日	西原東小学校	東っ子まつり	松岡幸子委員

平成22年8月13日	西原町中央公民館	宮城辰三氏「県P連会長就任」激励会	下地勝也委員
平成22年9月6日	西原町中央公民館	西原町中学生海外短期留学派遣事業 帰国報告会	仲本紀男委員長、松岡幸子委員
平成22年9月19日	西原町民陸上競技場	第31回西原町陸上競技大会	松岡幸子委員
平成22年9月27日	西原町中央公民館大ホール	地域ぐるみ学力向上対策協議会・地域教育部会講演会「子どもたちの居場所づくりに関わって～元総長のふれ愛義塾～」	松岡幸子委員
平成22年10月15日	西原中学校体育館	第31回西原町童話・お話・意見発表大会	仲本紀男委員長 松岡幸子委員
平成22年10月22日	中頭教育事務所	平成22年度中頭地区市町村教育委員会連合会第2回理事会	仲本紀男委員長
平成22年10月22日	西原町町民体育館	第11回西原町文化祭オープニングセレモニー	仲本紀男委員長
平成22年11月6日	西原きらきらビーチ	第3回 西原町小・中学校ビーチバレー大会	松岡幸子委員
平成22年11月10日	西原町立図書館	第12回 西原町中学生英語ストーリーコンテスト	松岡幸子委員
平成22年11月11日	西原の搭	平成22年西原町戦没者追悼式	仲本紀男委員長
平成22年11月15日	西原町中央公民館	平成22年度「小学生の税に関する書道」、「中学生の税に関する標語」並びに「税に関する高校生の作文」表彰式	仲本紀男委員長
平成22年11月24日	西原町中央公民館	平成22年度「文教のまち学園」修了式	仲本紀男委員長
平成23年1月4日	エリスリーナ西原 ヒルズガーデン	平成23年『西原町新春のつどい』	全委員(5人)
平成23年1月9日	西原町中央公民館	平成23年西原町婦人連合会新春のつどい	仲本紀男委員長
平成23年1月23日	西原町中央公民館大ホール	沖縄県文化協会賞受賞者祝賀会及び新春の集い	仲本紀男委員長
平成23年1月25日	西原町中央公民館	平成22年度全国高等学校総合体育大会西原町実行委員会第4回総会	仲本紀男委員長
平成23年1月28日	西原町中央公民館	平成22年度町功労者表彰式典・祝賀会	仲本紀男委員長 松岡幸子委員
平成23年1月28日	豊見城市中央公民館	第52回 沖縄県社会教育研究大会	松岡幸子委員
平成23年2月19日	中城村吉の浦会館他	第33回中頭地区学力向上対策実践発表大会	全委員(5人)
平成23年1月29日 ～30日	サンエー西原シティ 南側駐車場	西原町の産業まつり	全委員(5人)
平成23年2月28日	中頭教育事務所	平成22年度中頭地区市町村教育委員会連合会第3回理事会	仲本紀男委員長

上記のほか、交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に11回参加し、新垣洋子・松岡幸子委員が西原町青少年健全育成協議会会長を、仲本紀

男委員長が西原町人材育成会副会長及び西原町交通安全推進協議会副会長を、仲本紀男委員長・下地勝也委員が西原町社会福祉協議会理事を務め、関連行事に参加しました。

2. 教育委員会の活動に対する評価

沖縄県教育委員会連合会等が主催する研修会に積極的に参加し、教育委員としての資質向上に努め、定例会の前には勉強会を持ち、情報収集、意見交換を行い、教育行政に関する重要な決定を適正に行えるように努めています。

学校訪問をはじめ、学校行事や町の各種行事にも多く出席し、教職員、児童生徒、運営実行者、参加者を激励することができました。毎月はじめに行う交通安全・防犯活動朝のあいさつ運動に参加し、登校する児童生徒に声かけし、子ども達と直接ふれあい、顔の見える活動を心がけています。

また、町内教育関係者として西原町青少年健全育成協議会や西原町人材育成会、西原町交通安全推進協議会等の役員を担い、教育行政の推進に尽力しました。

有識者会議からは、教育委員会の議案について、予算の審議が町議会後の事後報告となっており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条による教育委員会の予算に関する意見の申し出の権限に基づき、町議会前に審議した方が良いとの意見がありました。

3. 事務の点検評価について

事務の点検評価にあたっては、西原町総合計画後期計画の基本計画『平和で人間性豊かな創造のまち』の中の施策「学校教育の充実」「社会教育・スポーツ活動の充実」「コミュニティ活動支援の充実」「文化の継承・発展と創造」「国際・国内交流の推進」に位置付けられる事業のうち、重要と思われる34事業を抜き出して行いました。

具体的な方法としては、各事業ごとに「事業概要・目標」「取り組み内容と成果」「課題」をまとめた評価シートを担当課にて作成し内部評価を行い、有識者会議を開き意見を聴取し、有識者からの意見を踏まえた上で、教育委員会が点検及び評価を行い、報告書としてまとめました。

なお、評価の基準については、事務事業を客観的に判断するため、次の4段階評価としました。

A: 目標が達成できた。

B: 目標が概ね達成できた。

C: 目標が一部しか達成できなかった。

D: 目標が達成できなかった。

以上によって評価された平成22年度の結果は次のとおりです。

平成22年度教育委員会事務事業評価シート

(教育委員会会議)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
1	教育委員会会議 (教育総務)	西原町の教育に関する方針の決定、規則の制定、その他重要な事項の決定を適正に行う。	会議前に委員内で勉強会をもち、理解を深めたうえで、教育委員会の運営に関わる決定をスムーズに行えた。教育委員会事務事業の点検評価を行い、事業内容について把握し、問題を共有できた。 ・教育委員会定例会の実施 12回/年 ・教育委員会臨時会の実施 6回/年	会議において、活発な議論、適切な判断ができるよう、教育委員の研修の充実を図り、会議資料の事前配布を徹底する必要がある。 教育委員会の活動を地域住民に伝えられるよう広報活動を行う。	B	予算にかかる審議については、教育委員会の首長への予算等に関する意見の申し出の権限に基づき、議会前に行うよう努力してほしい。

(学校教育の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等									
2	人材育成会補助金交付事業 (教育総務)	西原町人材育成会に補助金を交付する。 人材育成会の事業概要は次のとおり ・町内に住所を有する者で優秀な学生、生徒で経済的理由による就学困難者に対し、学資を貸与する。 ・児童生徒が体育行事、文化活動等で県を代表し、県外に派遣される場合の経費に対し、助成を行う。	・補助金交付額 4,410,000円 上記補助金のうち企業、町民からの指定寄附金が3,910,000円あり、事業運営がスムーズに行えた。 1月あたりの学資貸与金を、(海外・県外)大学生に対し、3万円から4万円に、(県内)大学生に対し、2万円から3万円に増額し、学資貸与事業の充実を図った。 一般成人に対する派遣助成を廃止した。 ・学資貸与新規貸付額 2,160,000円 (6人) ・学資貸与継続貸付額 4,680,000円 (18人) ・派遣助成事業費 7,698,967円 (24件) 【学資貸与金滞納状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>滞納者数</td> <td>49人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>27,995,787円</td> <td>29,407,287円</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度	平成21年度	滞納者数	49人	45人	滞納額	27,995,787円	29,407,287円	学資貸与金の滞納金の回収を強化し、将来的に持続可能な財政運営の安定を図る。	B	滞納金の回収は重要な課題である。今後も徴収対策に力を入れていただきたい。
	平成22年度	平成21年度													
滞納者数	49人	45人													
滞納額	27,995,787円	29,407,287円													

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
3	小学校施設維持管理 (教育総務)	各小学校の施設の適正な維持管理を行う。	<p>課題であったプール日よけネット設置は3校実施し、残り1校は平成23年度設置予定。 西原小学校の砂埃対策は、スプリンクラーを購入し、散水対策を行った。</p> <p>【施設の修繕】 4校分 7,249千円 【保守点検等委託】 4校分 14,350千円 【使用料及び賃借料】 4校分 6,592千円 【施設・設備工事】 6,786千円 ・電話設備工事(坂田小、西原南小) ・防球ネット張り工事(坂田小) ・体育館防球ネット設置工事(坂田小) ・プール赤外線センサー取付工事(坂田小) ・フェンス設置工事(西原南小) ・遊具撤去工事(西原小) 【施設・設備工事(繰越事業)】 3,365千円 ・プール日よけネット設置工事(坂田小・西原小・西原東小)</p>	<p>学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 また、今後解決していかなければならない課題として、次の事業等がある。</p> <p>①空調機等の設備修繕や設置 ②防水工事 ③坂田小学校過密解消対策の検討</p>	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
4	中学校施設維持管理 (教育総務)	各中学校の施設の適正な維持管理を行う。	<p>課題であった砂埃対策はスプリンクラーを購入し、散水対策を行った。</p> <p>【施設の修繕】 2校分 3,059千円 【保守点検等委託】 2校分 9,430千円 【使用料及び賃借料】 2校分 2,547千円 【施設・設備工事】 5,320千円 ・グラウンド補修整備工事(西原東中) ・管理棟外壁タイル補修工事(西原中) ・給水管取替工事(西原中) ・電話機移設工事(西原中) 【施設・設備工事(繰越事業)】 1,890千円 ・冷房室外機カバー交換工事(西原中)</p>	<p>学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 また、今後解決していかなければならない課題として、次の事業等がある。</p> <p>①児童生徒を紫外線から守るため学校プールの日よけネットの設置 ②運動場からの砂埃が周辺地域へ飛散する被害対策については、スプリンクラーを設置したが、まだ不十分である。 ③西原中学校の旧耐震基準の建物の耐震診断調査の実施</p>	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
5	幼稚園施設維持管理 (教育総務)	各幼稚園の施設の適正な維持管理を行う。	<p>課題であった預かり保育室のクーラー設置を行った。予算の範囲内で優先度の高いものから実施した。主な内容は次のとおり</p> <p>【施設修繕費】 4園分 474千円 【保守点検等委託】 4園分 186千円 【施設・設備工事】 584千円 ・預かり保育室間仕切り工事(西原幼) ・手洗場新設工事(西原東幼) ・フェンス設置工事(西原幼) 【施設・設備工事(繰越事業)】 8,458千円 ・預かり保育室空調機新設工事設計監理委託 ・預かり保育室空調機設置工事(西原幼、坂田幼、西原東幼)</p>	<p>学校施設の安全性を確保するには適正な維持管理が要求されるので、今後予算の拡大が望まれる事業である。 また、今後解決していかなければならない課題として、次の事業がある。</p> <p>①西原東幼稚園の旧耐震基準の建物の耐震診断調査の実施</p>	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
6	学校ICT環境整備事業 (教育総務)	平成21年度補正予算が決定され、「経済危機対策」に盛り込まれていた「スクールニューディール」構想において、学校等のデジタルテレビ、コンピュータなどのICT環境の整備を行う。	<p>平成21年度にて繰越した事業整備を行った。</p> <p>デジタルテレビ 29,676千円 バックアップシステム 1,743千円 メールシステム 1,529千円</p>	学校ICT環境整備事業の補助対象外の機器やソフトウェアの整備が今後も必要である。	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
7	学校施設防音工事 (教育総務)	普天間飛行場からの航空機の離発着等による騒音を軽減するために、校舎の防音工事を行う。	<p>西原南小学校校舎の改造防音工事を平成21年度から平成22年度にかけて行った。 整備内容は各教室、職員室等の窓を防音仕様のアルミサッシに取替え、空調設備の整備を行い、騒音を軽減する。 平成22年度において各工事(建築、電気、除湿換気)が完了し、10月に仮設校舎撤去を行った。</p> <p>平成22年度 210,485千円 仮設校舎 1,953.34㎡ 改造面積 3,769.99㎡ 除湿面積 2,584.12㎡</p>	防音工事は西原南小学校が平成22年度で完了である。今後、坂田小学校、西原東小学校の防音工事については、校舎が老朽化しているため、危険改築の際に併行防音事業で実施していく。	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																					
8	学校給食共同調理場事務運営事業 (教育総務)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な給食の献立、調理及び運搬を行うため職員指導、自己啓発に努め、衛生意識の向上を図る。 ・給食費負担金の徴収率のアップを図る。 ・施設の整備を図る。 ・地産地消の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の加入率が平成21年4月分では44.54%だったのが、平成22年4月分では57.02%へ向上した。 ・保護者への説明会等を経て、給食費を値上げし、給食の質を向上させた。 ・平成22年度の給食費の徴収率は95.8%で前年度比0.3ポイント向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化対策と設備の整備、備品の充実。 ・地産地消については、農家との価格調整が難しく、推進するにも、コーディネーター的な役割を担う部所が見当たらず進展が無い状態である。 	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。																					
9	学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策学校訪問の実施により、学校課題の対策への支援指導助言に努める。 ・校長会、教頭会、学対主任及び研究主任会の開催により、学校運営・経営への指導助言と支援に努める。 ・各学校の授業研究会へ参加し、教員の授業力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校へ学力向上対策学校訪問を5月～6月に実施し、学校課題の共通理解・指導助言を行うことができた。 ・各種研修会、協議会を通して、町教育委員会の施策の徹底と取組みの周知が図れ、実践5項目を推進することができた。 ・教育講演会、授業研究会での指導助言を実施することにより、教師の授業力が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校訪問は実施できたが、適宜訪問する体制が整っていない。 ・教育委員会実践5項目が年度明けに提示されたため、年間計画への反映が遅れた。 ・学校支援・公務の充実から指導主事2人体制は極めて必要である。 	B	近隣市町村の状況からしても、本町の指導主事の配置が1人というのは少ない。指導主事を増やして、学校支援を強化すべきである。																					
10	公約・評価・公表による活力ある学校づくり (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱し学校運営の資質の向上を図る。 ・学校が、開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民等の意向を把握・反映し、その協力を得るとともに、学校運営の状況等を保護者や地域住民等に周知するなど学校としての説明責任を果たしていく。 ・校長は、学校運営の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表する。 	<p>【学校評議員、学校関係者評価委員委嘱人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校評議員</th> <th>学校関係者評価員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>坂田小学校</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>西原小学校</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原東小学校</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原南小学校</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>西原中学校</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>西原東中学校</td> <td>3人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校評議員を置くことによって、保護者や地域住民の意見を広く聴くことが出来た。</p>		学校評議員	学校関係者評価員	坂田小学校	5人	5人	西原小学校	3人	4人	西原東小学校	4人	4人	西原南小学校	5人	5人	西原中学校	4人	4人	西原東中学校	3人	4人	<p>学校評議員と学校関係者評価委員のメンバーを兼任しているところが多いが、評議員の任期が3年となっているため、人材確保できるかが懸念される。</p>	B	PTAと連携をとって、人材確保する必要がある。
	学校評議員	学校関係者評価員																									
坂田小学校	5人	5人																									
西原小学校	3人	4人																									
西原東小学校	4人	4人																									
西原南小学校	5人	5人																									
西原中学校	4人	4人																									
西原東中学校	3人	4人																									

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取り組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
11	指導方法の改善・充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法改善加配教諭を活用し、指導方法の改善を図る。 個に応じた学習指導により、「分かる授業」「参加する授業」の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導方法改善加配教諭を活用し、少人数指導、補習指導、個に応じた指導を行い、基礎学力の定着を図っている。 補充的な学習、発展的な学習を取り入れたことにより、個に応じた学習指導ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導を実施し、個に応じた指導が展開できるようになったが、基礎学力が不十分な層の学力向上が課題である。 計画的な補習指導の時間の確保が必要である。 指導方法改善加配教諭を効果的に活用するための体制を充実させる。 	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
12	道徳の時間の指導の充実 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年度教育施策 5 項目に「心の教育」の推進を取上げ、各学校において道徳教育の充実を図る。 各学校道徳の公開授業を実施し、教育活動全体において心の教育を推進する。 「豊かな心の育成」推進構想を策定し、道徳教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「豊かな心の育成」推進構想を策定し、学校教育活動全体を通じた、心の教育の充実に取り組めた。 各学校、道徳の時間の公開授業が実施され、広く道徳教育の授業力の向上と理解が図られた。 「心のノート」を活用した道徳授業が展開できた。 文部科学省指定道徳教育実践校(西原小学校)を引き受け、道徳教育研究の推進が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間を中心に心の教育を推進しているが、学校外での実践力につなげていない。特に、規範意識の高揚に対し課題がある。 道徳教育は、各家庭教育との関連性が高いので、家庭教育力の向上が望まれる。 「道徳」の時間を要とした学校教育活動全体での取り組みの再確認が必要であり、道徳の授業の工夫改善が望まれる。 	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
13	学校・家庭・地域・諸機関との相互連携の強化 (学校教育課)	<p>学校、家庭、地域、関係機関との相互連携により、不登校児童生徒、問題行動児童生徒への指導・支援の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談室・スクールカウンセラーの活用により、不登校児童生徒の減少につながった。 中学校区生徒指導連絡協議会の開催により、地域連携が図られ、問題行動児童生徒の減少につながった。 管内警察署との連絡協議会を開催することにより、少年非行の防止につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動等に係る事件事故等がほとんど学校外で起こっている。地域による見守り、指導力の向上が望まれる。 家庭でのきまりをはじめ、基本的な生活習慣の確立が望まれる。 家庭における一人一役の奨励が必要である。 地域力をどう学校に取り込むかが重要である。 	B	本町の教育相談室は、学校との連携もよく行い、不登校児を登校につなげる等、機能充実している。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																			
14	要保護及び準要保護児童就学援助事業 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的負担を軽減することにより、児童生徒が安心して学校生活を送り、平等に就学できるように保障する。 ・学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費等を援助する。 	<p>厳しい経済状況の影響を受け、就学援助対象者は年々増え続けている。</p> <p>町広報誌への掲載、新入学児童生徒全員への通知の配布等で就学援助制度の周知を図っている。</p> <p>【要保護・準要保護就学援助対象者数】(単位:人、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成21年度</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>補助金額</th> <th>対象者</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>231</td> <td>12,492</td> <td>200</td> <td>9,007</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>123</td> <td>10,688</td> <td>109</td> <td>9,134</td> </tr> </tbody> </table>		平成22年度		平成21年度		対象者	補助金額	対象者	補助金額	小学校	231	12,492	200	9,007	中学校	123	10,688	109	9,134	<p>就学援助制度の周知を徹底することによって受給対象者の把握漏れがないように努める必要がある。</p>	B	<p>課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。</p>
	平成22年度		平成21年度																						
	対象者	補助金額	対象者	補助金額																					
小学校	231	12,492	200	9,007																					
中学校	123	10,688	109	9,134																					
15	特別支援教育就学指導体制の充実 (学校教育課)	<p>LD、ADHD、高機能自閉症等、障害のある児童生徒に対して、その一人一人の教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の活用により、校内の教職員同士の連携が図られた。 ・特別支援教育コーディネーターの位置付けにより、関係機関や保護者との連絡調整が円滑に進められた。 ・支援員を小学校に10人、中学校に2人配置することによって一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育や指導を支援することが出来た。 ・専門家による巡回指導を実施した。 	<p>今後特別支援教育の資質の向上を図るためには、専任のアドバイザー、臨床心理士等を配置し、教員等への指導助言や、また保護者が相談出来る体制が必要である。</p>	B	<p>特別支援教育の対象者は年々増加している。支援員の配置で学校も助かっている。今後も支援員配置の充実に努めてほしい。</p>																			
16	幼稚園預かり保育の実施 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程に係る教育時間の終了後に、西原町立幼稚園に在園する幼児を対象に教育活動事業として行う。 ・保護者の就労支援と子育て支援に資することを目的とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園へ入園後も安心して就労が出来ると喜ばれ、年々利用者が増加している。 ・自宅の近隣に同世代の幼児が少ない場合にも、同世代との交流を望んで利用されている。 ・出産のため午後保育する方がいない家庭において短期間利用されている。 ・全幼稚園預かり保育利用室にクーラーを設置した。 	<p>教育活動の年間計画を作成し、保育内容のさらなる充実を図る必要がある。</p>	A	<p>現在、希望者を全員受け入れることができているのは素晴らしい。</p>																			

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
17	幼稚園2年保育 の充実拡大 (学校教育課)	・幼児の健やかな成長のために、就学前の教育環境を与えて心身の発達を助長する。	・就学前教育として4園で2年保育が実施され、保護者から喜ばれている。また、単年度保育に比べ、園児の成長発達が著しく教育効果は大きいものがある。 ・保育所の待機児童解消に役立っている。 ・各園4歳児は、28人定員となっている。	・定員枠を越える希望者がいるので、抽選で入園児を決定している。就学前教育の必要性から申込者全員を受入れできないのが課題である。 ・待機児童の解消を図ることも課題ではあるがさらに定数を増やしていくと安全面で不安がある。教室の増等、大幅な予算措置が必要になる。	B	幼児期の成長、発達は非常に大きい。希望者を多く受け入れられるよう努力していただきたい。
18	職場体験学習 (チャレンジウィーク)の実施 (学校教育課)	・生徒が学校を離れ、地域の人々との関わりを主とした職場体験学習で、あいさつや礼儀作法等、社会人の一員として、基本的なことを学ぶ。 ・体験学習を通して、職業観や勤労観を育む機会とする。 ・問題解決の力を養い、「生きる力」の向上につなげる。 ・地域の人達が子どもたちの教育に関わる機運を高める。	・中学校2校で町内外の企業にて4日間の職場体験を実施。(実施期間:平成22年6月28日~7月1日)・職場体験学習を体験することによって、あいさつや礼儀作法を学び、働くことによって「生きる力」を育み、将来の目標設定等につなげることができた。 ・平成22年度から学校現場主導で事業を実施し、キャリア教育の視点で学校全体で事業に取り組むことができた。 ・今までの実績から学校現場への事務の移管もスムーズに行え、事務の効率化が図られた。	効果的な運営の更なる充実を図る。	B	事務の移管後、事業実施がどうであったか、総括して、学校現場の声、事業の成果、課題等を拾い上げて、今後の事業の更なる充実に努めて欲しい。

(社会教育・スポーツ活動の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
19	家庭教育学級 (生涯学習課)	子どもの行動や意識の形成の上で重要な時期に、子育ての支援を図る。	生涯学習課で学級運営の助言・協力等を行い、PTA主体での運営を促している。講師謝礼金は教育委員会で負担している。 各小・中学校の6校で22回開催され、延べ1,495人(講演会含む)が受講し、保護者の資質向上に寄与した。	現在、社会教育指導員のもと家庭教育学級を運営しているが、各PTAが企画、実施しており、PTA主体での運営ができるようになってきた。事業の趣旨等の共通理解を図り、今後もさらなる自主運営を促したい。 講師謝礼金の額が低く、支払基準の改善が必要である。	B	町PTA連合会と委託契約を結び、各PTAに運営させれば、自主性を発揮した運営ができるのではないかと。 PTAとよく調整してすすめていただきたい。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
20	少年少女リーダー 一学級 (生涯学習課)	地域の子供たちが一堂に集い、リーダーとしての心得を学習する。	平成 22 年度から、実施を希望していた西原町子ども会育成連絡協議会に事業を移管し、補助金を交付した。 事業内容も充実したカリキュラムとなり、例年にはなかった中学生の参加もあり、子共達の交流の輪が広がった。 教育委員会の負担軽減につながった。	課題であった事業の移管を終えた。 事業移管初年度ということで、広報が遅れたことは課題である。 地区によって参加者の偏りがないよう注意する必要がある。	A	事務移管後の事業の総括が必要である。 学校と連携して全児童生徒への事業周知が必要。
21	青少年健全育成事業 (生涯学習課)	町青少年健全育成協議会を組織し、青少年の健全育成を図る。	「少年を守る日」毎月第 3 金曜日と夏休み期間の毎週金曜日には夜間巡回指導を行っている。 7 月には町民一斉行動を実施し、2 月の「西原町教育の日」には善行青少年を表彰している。 成果として青少年の深夜はいかいを防止し、健全育成が図られた。	「西原町青少年健全育成協議会」の予算が少なく、懐中電灯の補充やチラシやポスター等による広報ができない為、今後、増額が望まれる。	B	青少年を取り巻く環境が厳しい中、重要な事業である。今後も頑張っていたきたい。
22	中央公民館運営事業 (生涯学習課)	各種講座や学級を開設し、町民の生涯学習に寄与する。	一般町民や親子を対象とした講座等が 139 回開催され、延べ 2,080 人が参加した。 【公民館講座】 ・茶道講座 ・絵手紙講座 ・書道教室 ・デジタルカメラ入門 ・琉球かれん講座 ・町内戦跡講座 ・親子絵画教室 ・男の料理教室 ・子ども英語教室 ・デジタルカメラ講座 ・やまびこ学級 ・家庭菜園基礎講座 ・親子 MY 著作 【その他公民館事業】 ・自治公民館移動講座	・公民館利用者の大半が女性で、男性の参加者が少ない。今後、どのようにしたら多くの男性に利用してもらうかが課題である。 ・町民のニーズに合った講座を開催する。 ・広報活動を通して、利用者の拡大を図る。	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていたきたい。
23	文教のまち学園 (生涯学習課)	新たな知識や世界との出会いや交流を通じ、町民の健康や生きがいづくりに資する。	概ね 60 歳以上の町民 60 人(延べ 399 人)が 10 回の学習プログラムを受講した。年々、内容も充実し、受講者から好評を得ている。 【学習内容】 「憩いの響き」「座間味島での戦争体験」「林美伶ショー」「タイの思い出を語る」「くがに言葉と教訓歌」「護佐丸・阿麻和利物語」「アジアに生きる子どもたち」「歌碑めぐり」「マジックショー」「歌と踊り」全 10 回	今まで以上に内容の充実が図れば、他市町村のモデルとなる。	B	学習内容に、ショーの観賞等があるが、事業目標に即して、参加者が主体的に参加できる内容にした方がよい。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																											
24	団体サークル活動支援 (生涯学習課)	サークル活動をとおして、自己研鑽を図り、生きがいをづくりに資する。	<p>36のサークルが公民館に登録され、毎週1回(2時間程度)のサークル活動を行っている。</p> <p>【主なサークル活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス ・琉球舞踊 ・民謡エイサー ・水墨画 ・大正琴 ・三線 ・カラオケ ・朗読群読等 ・詩吟 ・社交ダンス ・民謡レクダンス ・手芸 ・常用字の習得 ・ヨガ ・フラダンス ・ダンス ・手話ダンス ・生花 ・パソコン ・コーラス ・レクダンス ・日本舞踊 ・カナイ笛 ・中国語 ・絵手紙 ・有機農業研究 	サークルのなかには、30年近く同じメンバーで活動しているものもあり、会員の固定化、高齢化がすすんでいる。いかに新しい会員を増やすかが課題となっている。	B	各サークルが、自分達で講座等を開き、新規会員を獲得する等の方策も指導してはどうか。																											
25	図書館事務運営事業 (生涯学習課)	<p>図書館を良好な状態で利用できるように維持管理を行う。</p> <p>図書貸出、講座、講演等の充実を図り、多くの住民が利用できるようにする。</p>	<p>【開館日数・貸出冊数等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日</td> <td>268日</td> <td>270日</td> </tr> <tr> <td>入館者</td> <td>170,981人</td> <td>169,531人</td> </tr> <tr> <td>1日あたり入館者数</td> <td>638人</td> <td>628人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>18,154人</td> <td>12,288人</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>52.5%</td> <td>35.7%</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>247,364点</td> <td>246,815点</td> </tr> <tr> <td>年1人あたり貸出冊数</td> <td>7.2冊</td> <td>7.2冊</td> </tr> <tr> <td>相談業務</td> <td>3,537件</td> <td>3,388件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・講演会 1回開催 42人参加</p> <p>・町民文化講座 6回開催 123人参加</p> <p>・おはなし会 22回開催 203人参加</p> <p>・上映会 28回開催 1,085人参加</p> <p>・紙芝居 22回開催 272人参加</p> <p>・読み聞かせ・読み合い講座 4回開催 123人参加</p> <p>・ベビースクール 6回開催 88人参加</p> <p>(喜楽星7との共催事業)</p> <p>・ブックフェスタ(11月3日)1回開催</p> <p>・あっと一め一のささやき 2回開催 150人参加</p>		平成22年度	平成21年度	開館日	268日	270日	入館者	170,981人	169,531人	1日あたり入館者数	638人	628人	登録者数	18,154人	12,288人	登録率	52.5%	35.7%	貸出冊数	247,364点	246,815点	年1人あたり貸出冊数	7.2冊	7.2冊	相談業務	3,537件	3,388件	<p>町民文化講座は魅力ある講座の企画が必要である。</p> <p>講演会、企画展示は、各年代の興味や関心に沿った内容で実施する必要がある。</p> <p>学校司書との連携(団体貸出、相互貸出、情報の共有化など)を強化する。</p> <p>ボランティア団体等との行事の企画、運営を行っていく。</p>	A	町史編纂事業の資料公開についても、連携し、企画展示するなどしてはどうか。
	平成22年度	平成21年度																															
開館日	268日	270日																															
入館者	170,981人	169,531人																															
1日あたり入館者数	638人	628人																															
登録者数	18,154人	12,288人																															
登録率	52.5%	35.7%																															
貸出冊数	247,364点	246,815点																															
年1人あたり貸出冊数	7.2冊	7.2冊																															
相談業務	3,537件	3,388件																															

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																					
26	保健体育事務運営事業 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> 社会体育に関する事業について、国・県・各種団体等と連携し、全般的な事務事業を行う。 体育協会等のスポーツ団体に補助金を交付して、成人、少年等の各種スポーツの競技力向上と底辺拡大を支援する。 	<p>【財政援助団体への補助金交付状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町スポーツ少年団 360,000 円 (活動: 野球、空手、バレーボール大会の開催・参加) 町体育協会 5,500,000 円 (活動: 町民陸上競技大会・各種球技大会開催等) 町バレーボール協会 500,000 円 (活動: バレーボール祭り、教室等の開催) 町ゲートボール連合会 500,000 円 (活動: 毎月定例大会の開催) 町バスケットボール協会 150,000 円 (海邦国体記念バスケットボール大会等の開催) <p>各種のスポーツ団体の開催する区対抗の大会、クラブチーム大会等により地域の活性化、町民の健康増進に寄与している。 特にバレーボール、なぎなた、空手の競技における県内外での活躍は、大きな成果である。</p>	町体育協会の法人格取得に向けての検討が必要である。	B	スポーツ団体への補助について、経費に無駄はないか確認し、補助額を決定する必要がある。																					
27	学校開放事業 (生涯学習課)	学校の施設を開放することで、町民自ら健康の維持及び体力の増進を図れるよう、スポーツに親しむ場を提供し、スポーツ愛好者の底辺拡大を推進、スポーツ活動の充実を図る。	<p>【開放施設使用状況】</p> <p>(小学校)</p> <table border="1"> <tr> <td>・坂田小学校</td> <td>246 件</td> <td>2,770 人</td> </tr> <tr> <td>・西原小学校</td> <td>50 件</td> <td>1,000 人</td> </tr> <tr> <td>・西原東小学校</td> <td>147 件</td> <td>2,547 人</td> </tr> <tr> <td>・西原南小学校</td> <td>207 件</td> <td>2,279 人</td> </tr> </table> <p>(中学校)</p> <table border="1"> <tr> <td>・西原中学校</td> <td>340 件</td> <td>5,354 人</td> </tr> <tr> <td>・西原東中学校</td> <td>333 件</td> <td>5,279 人</td> </tr> <tr> <td>延べ</td> <td>1,323 件</td> <td>19,229 人</td> </tr> </table> <p>年度によって利用者数等に増減があるが、毎年、利用者は多い。</p>	・坂田小学校	246 件	2,770 人	・西原小学校	50 件	1,000 人	・西原東小学校	147 件	2,547 人	・西原南小学校	207 件	2,279 人	・西原中学校	340 件	5,354 人	・西原東中学校	333 件	5,279 人	延べ	1,323 件	19,229 人	<ul style="list-style-type: none"> クラブチーム等借用を希望する団体が増えているが、学校の部活等で開放できる日が限られており、学校側との調整や、開放計画を立てることが難しくなってきた。 夜間のグラウンドの借用の希望が多いが、ナイター設備が整備されているのは西原中学校だけなので、開放日を増やす必要と西原東中のグラウンドへナイター設備整備を検討する必要がある。 	B	クラブチームの指導者の集まりを持ち、互いに日程調整をすれば、効率的に使用でき、教育委員会や学校との連携も図れると思われる。
・坂田小学校	246 件	2,770 人																									
・西原小学校	50 件	1,000 人																									
・西原東小学校	147 件	2,547 人																									
・西原南小学校	207 件	2,279 人																									
・西原中学校	340 件	5,354 人																									
・西原東中学校	333 件	5,279 人																									
延べ	1,323 件	19,229 人																									

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
28	スポーツ教室等 運営事業 (生涯学習課)	各種スポーツ教室、講習会、大会を開催して、スポーツを楽しむ機会を提供し、スポーツ人口の底辺拡大を図る。	<p>【教室等開催・参加状況】</p> <p>(スポーツ教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年野球教室 1回 120人 <p>(講習会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り講習会 5回 196人 <p>(大会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新春パークゴルフ大会 1回 93人 ・ビーチバレー大会 1回 120人 <p>各種の教室や講習会を開催することにより、成人の健康増進、サークルの育成、各種競技スポーツの底辺拡大と競技力の強化に寄与している。</p> <p>第62回沖縄県中学校野球選手権大会にて西原東中学校が初優勝した。</p>	運営経費の削減等による町の負担軽減、利便性の向上等の観点から、事業を民間団体に委任する指定管理者制度の検討が必要である。	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
29	平成22年度全国 高等学校総合体育大会開催準備 及び大会運営業務 (生涯学習課)	本町において開催される「平成22年度全国高等学校総合体育大会」のバスケットボール(女子)、バレーボール(女子)の2競技を実施するために、必要な準備及び運営にあたる。	<p>大会運営は高体連バスケットボール専門部のおかげで無事、成功裏に終わることが出来た。</p> <p>また、地元の西原高校がバレーボール競技で男女アベック出場し、地元が大いに盛り上がった。</p> <p>この大会の目的である高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図ることができた。</p> <p>町内小中学校の協力による会場装飾(プランターによる花の育成)、歓迎看板制作、応援メッセージカード作成、清掃活動等、大会期間中の応援等、児童生徒の活動や取り組みによって、本町児童生徒の健全育成に資することができた。</p>	単独県での開催は、今回で最後であり、今後は、ブロック毎で開催する。	A	職員の尽力により、無事、終えることができた。

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等																																																								
30	社会体育施設 運営事業 (生涯学習課)	各スポーツ施設の充実と維持管理を行い、スポーツ用具等の充実を図る事により、社会体育関係事業の推進に寄与する。	<p>【貸出し使用状況及び収入】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">町民体育館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アリーナ</td> <td>967件</td> <td>33,461人</td> <td>4,738,000円</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>456件</td> <td>7,926人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>14件</td> <td>153人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレーニングルーム</td> <td>11,201件</td> <td>11,201人</td> <td>1,120,100円</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>12,638件</td> <td>52,741人</td> <td>5,858,100円</td> </tr> <tr> <th colspan="4">陸上競技場</th> </tr> <tr> <td>トラック&フィールド</td> <td>60件</td> <td>8,368人</td> <td>840,480円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>113件</td> <td>1,350人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>173件</td> <td>9,718人</td> <td>840,480円</td> </tr> <tr> <td>パークゴルフ場</td> <td>26,229件</td> <td>26,229人</td> <td>4,959,900円</td> </tr> <tr> <td>交流広場</td> <td>218件</td> <td>8,044人</td> <td>195,500円</td> </tr> <tr> <td>テニスコート場</td> <td>3,393件</td> <td>40,064人</td> <td>2,457,600円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42,651件</td> <td>136,796人</td> <td>14,311,580円</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設の利用人数は着実に伸びており、町民の健康増進や各種スポーツの底辺拡大、競技力の向上等に寄与している。</p>	町民体育館				アリーナ	967件	33,461人	4,738,000円	武道場	456件	7,926人		会議室	14件	153人		トレーニングルーム	11,201件	11,201人	1,120,100円	小計	12,638件	52,741人	5,858,100円	陸上競技場				トラック&フィールド	60件	8,368人	840,480円	会議室	113件	1,350人		小計	173件	9,718人	840,480円	パークゴルフ場	26,229件	26,229人	4,959,900円	交流広場	218件	8,044人	195,500円	テニスコート場	3,393件	40,064人	2,457,600円	合計	42,651件	136,796人	14,311,580円	<ul style="list-style-type: none"> 運営経費の削減等による町の負担軽減、利便性の向上等の観点から、事業を民間団体に委任する指定管理者制度の検討が必要である。 	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。
町民体育館																																																														
アリーナ	967件	33,461人	4,738,000円																																																											
武道場	456件	7,926人																																																												
会議室	14件	153人																																																												
トレーニングルーム	11,201件	11,201人	1,120,100円																																																											
小計	12,638件	52,741人	5,858,100円																																																											
陸上競技場																																																														
トラック&フィールド	60件	8,368人	840,480円																																																											
会議室	113件	1,350人																																																												
小計	173件	9,718人	840,480円																																																											
パークゴルフ場	26,229件	26,229人	4,959,900円																																																											
交流広場	218件	8,044人	195,500円																																																											
テニスコート場	3,393件	40,064人	2,457,600円																																																											
合計	42,651件	136,796人	14,311,580円																																																											

(コミュニティ活動支援の充実)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
31	成人式事業 (生涯学習課)	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことを目的に、式典を開催する。	<p>例年、町民体育館で「成人の日」前日の日曜日に開催している。</p> <p>新成人対象者は平成22年度は551人であった。</p> <p>学校、PTA、町青少年健全育成協議会が連携して、運営にあたっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新成人が主体的に式の運営に関われるよう検討する。 会場の音響装置の改善が望まれる。 会場外では後輩達が騒いでおり、関係機関との一層の連携、協力が必要である。 	B	課題をふまえ、事業運営の改善に努めていただきたい。

(文化の継承・発展と創造)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
32	内間御殿整備 事業 (生涯学習課)	町の代表的な文化財である内間御殿を後世に残していくために復元・整備をしていく。	内間御殿が国史跡に指定された。 土地等の買上げ(1法人、3筆)を行った。	今後、保存・活用に向けて整備を行っていくが、体制を強化しないと、計画通りに進まないことが考えられるので、適切な人員配置が望まれる。	A	長年目指し、取り組んできた国の文化財に指定された功績は大きい。
33	町史編纂事業 (生涯学習課)	地域資料を発掘し、本町の歩みを明らかにし、町民にその成果を還元する。	今までに「西原町史」の資料編8巻と別巻を発刊し、その付属刊行物として4編を発刊した。 平成22年度は「西原町史 通史編 第1巻」の発刊に向け、編纂に取り組んだ。	町史編集事業終了後、いままで収集した膨大な資料の整理、保存、公開をいかにするかが大きな課題である。	A	資料の公開については、内間御殿の整備も入ってくるので、歴史資料を公開する資料館等をつくる等、積極的に取り組んでほしい。

(国際・国内交流の推進)

番号	事業名 (担当課)	事業の概要・目標	取組み内容と成果	課題	評価	評価説明等
34	国際理解教育・外国語教育の推進 (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の授業において、ネイティブスピーカーによる指導の機会を設けることにより、外国語をより身近なものとし、児童生徒の語学学習意欲を増進させる。 アメリカハワイ州に中学2年生を短期間派遣し、国際的視野を広め、国際性を身につけ、国際社会に対応しうる青少年の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校に英語活動指導員を配置し、外国語の習得に役立てた。 中学校に英語指導助手(ALT)を配置したことにより、効果的に英語教育が出来た。さらに授業外でのふれあいを持つことにより、国際理解と国際感覚の増進へと繋がった。 中学生海外短期留学事業参加者のほとんどが、「英語力をもっと向上させたい」「国際性を身につけ、外国で活躍したい」と意欲的になった。 	ホームステイ先の家族と日常会話のコミュニケーションをするため、短期留学前に英語の研修を行う等、事前研修が必要である。	B	ハワイ短期留学は、児童生徒が英語学習に意欲を出す良い機会になったと思われる。 今度も英語教育に力を入れて欲しい。

4. 有識者の知見の活用について

有識者の知見の活用については、西原町教育委員会では、教育に関して学識経験のある方3名で組織する「西原町教育委員会の点検及び評価に関する有識者会議」を設置し、主要事業の管理及び執行等について意見をいただき、各事業の点検及び評価に反映させました。

有識者会議の委員及び主な意見は次のとおりです。

(1) 点検・評価に関する有識者会議委員名簿

氏名	任期	備考
田港 朝勝	H23.10.26～H25.3.31	元西原南小学校校長
大城 洋子	H23.10.26～H25.3.31	元西原町教育委員
大城 剛	H23.10.26～H25.3.31	西原町PTA連合会会長

(2) 有識者会議での主な意見

2回の有識者会議を開催し、事務事業点検評価について、ご意見をいただきました。

主な意見としては、

- ・「幼稚園2年保育の充実拡大」については、幼児期の成長は大きく、待ったなしである。希望者を多く受け入れられるよう拡充してほしい。
- ・「家庭教育学級」については、西原町PTA連合会に運営委託してはどうか。
- ・「町史編纂事業」では、内間御殿の整備も見据えて、歴史資料を公開する場を作ってはどうか。

等があったほか、委員の豊富な経験から、事業改善に向けた詳しいアドバイスもいただきました。

また、各事業について、予算がないで済ませないで、優先順位を決めて長期的に計画し、「文教のまち」にふさわしい取り組みをして欲しいとのお言葉もいただきました。

結びに

今回から、有識者の知見の活用を図るということで、有識者会議を設置し、委員の皆様からの意見を点検評価に反映させるという、はじめての試みを行いました。委員の皆様には、大変、貴重な意見をいただいたことに感謝いたします。いただいた意見、提言を真摯に受け止め、事業内容の充実、改善に役立てていく所存であります。

この点検評価は、教育委員会の事務事業の管理運営について考える良い機会となりましたが、各職員にとっても、自己点検、自己評価を行うことによって、P(Plan・計画)、D(Do・実行)、C(Check・評価)、A(Action・見直し)サイクルに沿った事業展開を促す良い機会になったと思います。

今後も、関係機関との連携強化を図り、より良い教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。